

インフルエンザ



いよいよインフルエンザが年頭よりこの地域でもチラホラ出て来たようです。いつもと違い、A型、B型が最初から混ざって出てきているようです。

薬の効き方は、例年のように良いようです。治りも良いようですが、早期の対応が必要です。

高熱などでおかしい時は、早めに来院して下さい。(院長)

今年もインフルエンザの季節がやってきました。

2014年は、1月下旬から2月上旬にかけて流行のピークになるとみられますので、皆さん注意が必要です。

まずインフルエンザと風邪との大きな違いですが、原因となるウイルスが違います。通常の風邪は喉がイガイガしたり、鼻水が出たりする症状から始まりますが、それに対してインフルエンザは、突然体温が急上昇し、38〜40 近くの高熱がでるのが特徴となります。またインフルエンザにかかると全身にあらわれる倦怠感や関節痛なども特徴的で、これらの身体のだるさに関しては、大体5日間ほど継続すると言われています。

これからの冬にかけて突然高熱が出て全身にだるさなどの倦怠感や関節痛が現れた場合はインフルエンザの可能性が高いと思われまますので、すぐに来院して下さい。インフルエンザは、

気管支炎や肺炎などを併発しやすいという傾向があり重症化すると脳炎や心不全を引き起こすこともあります。特に小さなお子さんがいる場合は、夜中などに高熱が出た場合解熱剤を使いたくなくなるところですが、インフルエンザだと気づかず、市販の解熱剤を使用すると、15才未満のお子さんの場合は、解熱剤の成分によっては「インフルエンザ脳炎」を引き起こす危険があります。

突然お子さんが高熱を出してしまった場合は自分の判断では薬を与えず必ず医療機関に受診し、薬を処方してもらいましょう。

毎年流行するのは、A型、インフルエンザA型の特徴

危険性は高くウイルスが変異しやすいのが特徴で毎年世界的に流行しています。

症状としては、高熱、喉の痛み、鼻づまりなどです。

インフルエンザB型の特徴

危険性は、高いが、人同士でしか感染しないことが特徴で予防接種次第では、ほとんど流行しないためA型に比べると流行の規模は、小さくすむといわれています。

症状としては、腹痛、下痢といった消化器系に影響がやすいです。近年の傾向からするとA香港型とB型が流行することが多いため、今年もこの2つが流行する可能性が高そうです。

また、インフルエンザの特徴は、高熱であるといわれますが、最近のインフルエンザの傾向としては、熱があまりあがらないタイプのインフルエンザも珍しくないようです。おかしいなと思ったら、まずはご相談下さい。(看護師 鈴木千晴)



昨年の12月初めよりポツポツ出ています。

吐物始末などから感染するようで、1人感染すると一家全員罹患してしまうこともありまます。吐物の始末をビニール手袋でやって、それも捨ててしまうようにして下さい。

この時期は、いろいろな感染症がありますので調子が悪いときは、できるだけ速く来院して下さい。(院長)

COPD (慢性閉塞性肺疾患)



最近このCOPDという方が増加して来ています。

私の所でも以前は、ほとんどお見かけしなかったのに数人の方が悩んでおられます。

重症になると常に酸素呼吸器が必要となり、たいへん不便な生活をせざるをえないようになります。

原因は長期の喫煙ですが、自分の喫煙だけでなく、配偶者や、周囲(事務所全員がタバコを吸うなど)にタバコを吸う人が多くという方もいます。

以前こういう方は、カゼをひいた位で亡くなってしまふことが多かったのですが、この頃ではそういうことの処置が良くなって、病気の人が目立つようになつてきました。



1月・2月の休診日

休診 日曜・祭日  
午後休診 水曜・土曜



E・メールを送って下さい。  
norikazu@okutu.jp



院長1月10日誕生日です。

みなさんの質問や投稿をお待ちしております。  
受け付けからのお願い  
月初めには必ず保険証を  
受け付けにお出し下さい。  
診察券は毎回お持ち下さい。  
編集に当たり校正には十分注意致しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。